# 平成２９年度　政務活動費　先進都市調査報告書

| | |
|---|---|
| 会派名 | 新緑会 |
| 議員名 | 早坂　博　　羽立　秀光 |
| 調査実施年月日 | 平成３０年１月２４日（水） |
| 調査先　自治体名等 | 東京都江戸川区 |
| 調査項目 | 子ども未来館について |
| 調査目的 | 子ども未来館の取組について |
| 報告内容<br>実施したこと | １　視察先（市町村）の概要<br>人口：６８１，２９８人　行政面積：４９．９０ｋ㎡<br>２　視察内容<br>・子どもライブラリー、子どもアカデミーについて |
| 感想（まとめ）<br>本市へ生かせること等 | ・江戸川区子ども未来館（篠崎子ども図書館）は平成２２年４月開館。<br>◎子どもライブラリーとは<br>子どもライブラリーは、子どものための図書館で「本の閲覧・貸出」や「本から生まれる楽しい図書活動をすることができる。<br>◎子どもアカデミーとは<br>子どもアカデミーは、小学生が楽しく学べるさまざまなプログラムを行っている。動植物や自然など身のまわりの不思議を調べたり、実験観察を行ったりする自然科学分野、地域の環境や社会のしくみについて知識を深めたり、表現活動やものづくりを行ったりする人文・芸術分野など、幅広いテーマを体験的に学べる。知識だけではなく、なぜそうなるかを共に考え、五感を使い実際に体験することで、子どもたちの知的好奇心や探究心を育み、自分で考える力と豊かな感性を養うことを目指している。<br>・江戸川区ならではの水と緑に囲まれた自然環境は、子どもアカデミーにとって大切な学びのフィールドとなっている。時には子ども未来館の教室を飛び出して、豊かな自然を教材として活動している。また、プログラムのお手伝いをしてくれる地域のボランティアの方々とのかかわりも、子どもアカデミーの大きな特徴になっている。専門的な知識をもつ大学、企業、ＮＰＯ等の専門講師のほか、知識・技能を有する区民の方々や、活動を見守ってくれるボランティアの活躍は、子どもアカデミーでの活動を支えると同時に、子どもたちの社会性の育成にも深く貢献している。<br>江戸川区の子ども未来館の取り組みは、本市で計画を進めている環境科学館について議論が進められるうえでとても参考になった。 |